

リリースノート

製品 :AvePoint Web サイト移行
for SharePoint 2.0

リリース日 :2010 年 1 月 22 日 :

パッケージ一覧 : フル パッケージ

新機能と改良点

- **カスタム列のコントロールを改良**

移行プロファイル内で、カスタム列を個別に選択して移行するかスキップするかを選択できるようになりました。新規カスタム列を作成する際、ユーザーは各カスタム列のコンテンツに対してファイルの種類を選択することができます。

- **新規移行プレスキャン機能**

AvePoint Web サイト移行 for SharePoint 2.0 に新しく追加された移行のプレスキャン機能では、実行する前に予め移行プランの詳細な分析を確認できます。このスキャン機能で、移行されるコンテンツの種類、ページ テンプレート、そしてサイト構造をレポート出力します。

- **AvePoint Web サイト移行 for SharePoint 2.0 の Windows 7 への対応状況**

AvePoint Web サイト移行 for SharePoint 2.0 は、マイクロソフト社がデザインした Windows 7 対象の互換性および信頼性に関するテストに合格しています。



バグ修正

- **テーブルから SharePoint リスト への移行時のエラーを解決**

Web サイト移行 for SharePoint では、お使いの Web サイト上の HTML テーブルを、SharePoint リストへ完全忠実に移行できるようになりました。以前は、列ヘッダのデータがキャプチャされず、移行することができませんでした。

- **サイトの移行プランファイル名が変更される**

移行プラン実行後、作成したサイト移行プラン (.SMP) ファイル名が短くなるか、または変更されることに注意してください。この変更には、SMP ファイルのコンテンツおよび機能性には全く影響が無いことが確認されています。

既知の問題

- **サイト URL フィールドへの Web サイト IP アドレスの入力**

現在、AvePoint Web サイト移行 for SharePoint では、URL の代わりに Web サイトの IP アドレスを入力することがサポートされていません。(例：127.0.0.1) 必要であれば、サイト IP を host ファイルへ追加することで回避することが可能です。

- **新規移行プロファイルの作成時にサポートされていないアイテムが一覧される**

新規移行プロファイルを作成する際、移行がサポートされていない特定のファイルの種類が一覧されます。移行がサポートされない典型的な Web サイトサーバーのコンテンツには、関連データベース、サイトのバックグラウンド処理が実行されている論理プロセス、そして Active-X オブジェクトまたは control が含まれます。詳細については、AvePoint Web サイト移行 for SharePoint 2.0 の サポートされている / サポートされていない リストを参照してください。